

フィリピン洪水被害に支援を AMDA高校生会が募金

国際医療ボランティアAMDA(岡山市北区伊福町)によるフィリピンでの洪水被災者支援をサポートするため、ボランティア学生らでつくる「AMDA高校生会」は16日、同本町の岡山高島屋前で街頭募金を行った。

動画ニュース Movie news

>>一覧

フィリピンは7月末からの台風や豪雨により、首都マニラなどで200万人以上が被災。食料不足や衛生状態の悪化などが懸念され、AMDAは看護師と調整員各1人を17日まで5日間の予定で現地に派遣している。

岡山県内と福山市の高校に通う8人と職員ら計約20人が参加。巡回診療や医薬品の配布など現地での活動を伝える写真パネルを手に、通り掛かった人に「大洪水の復興支援にご協力を」などと呼び掛けた。募金はAMDAの医療活動に役立てられる。

同会は、1995年発足。これまでにミャンマーでの子ども病院建設や各国での被災者支援のための募金活動などを行っている。



写真拡大

通り掛かった人に募金を呼び掛ける高校生ら